

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください

記

講 師：嶋倉 道郎（しまくら みちお）先生

元 奥羽大学大学院歯学研究科 教授

演 題：レーザーで何ができるか？

日 時：平成25年 9月26日（木）

17時00分 ～ 18時30分

場 所：歯科棟南 4階 特別講堂

講義趣旨：レーザー（LASER）とはLight Amplification by Stimulated Emission of Radiationの頭文字を組み合わせた造語であり、1960年にメイマンが初めて発振に成功した人工的に作られた光である。レーザーは方向と波長と位相が揃っているという自然光にはない優れた性質を持っていることから、現在では日常生活の様々な分野で応用されている。歯科においても、歯質の蒸散、軟組織の切除、歯石除去、疼痛緩和、創傷治癒の促進など様々な領域で応用されている。補綴の領域では主に金属フレーム同士の溶接に使用されているが、どうしてそのようなことが可能なのか、またどんなことに注意してレーザーを使用したらよいか考えてみたい。

連絡先：摂食機能保存学分野 三浦宏之（岡田大蔵）（内線5521）